

報道関係者各位

2026 年 2 月 10 日

水 ing 株式会社

足立区立千寿桜堤中学校の企業訪問を受け入れました

水 ing 株式会社（社長：安田真規 本社：東京都港区）は 1 月 23 日、水 ing が取り組む社会課題や国内の水インフラ（水道、下水道等）のすばらしさ、そして、それを将来へつなぐ重要性などを理解いただく活動の一環として、中学生（引率の先生含め 11 名）の企業訪問を受け入れました。尚、当社（汐留本社）内への企業訪問は今回で 9 回目となります。



講義中の様子。熱心に話を聞いてくれました

【背景】

千寿桜堤中学校では、総合学習教育の一環として、「企業で学ぼう！～働くことの楽しさや社会とのつながり～」をテーマとした企業訪問を行っています。生徒さんたちが当社の WEB サイトを見つけ、先生を通じ申し込みしていただきました。

【当日の様子】

水に関するクイズを交えながら、生徒さんたちが将来の職業観を広げられる以下の内容について当社グループ社員が講演しました。

- ・当たり前ではない「飲める水道水」
- ・ボトル水と水道水の価格の違い
- ・世界に誇る日本の水インフラ（主に水道、下水道）
- ・水インフラを守り続ける大切さ
- ・SDGs について考え続けること
- ・水 ing グループ事業概要
- ・働くことのやりがい



中学生や先生に説明する当社グループ社員

【講師役を担当した当社グループ社員のコメント】

「日常生活と結びつけながら講義を聞き、積極的に考えている姿が印象的でした。『水』の大切さについて改めて学び、今後の生活の中で活かしてもらえたら嬉しく思います」。「『水』を扱う事業者として、“水が使える当たり前”を支えていることのやりがいや誇りを伝えることで、『水』にもっと興味を持ってもらえたらうれしいです」。

【生徒さんたちの感想】

「『水』が当たり前に見える生活は、多くの人の努力と高い技術によって支えられていることを学ぶことができました」。「災害時に『水』を届けるための備えが全国で行われていることから、社会的責任の大きさを感じました」。「大雨のときの『水』の使い方など、日常生活で意識していきたいと感じました」。「社会人になってからも学び続けることが大切であり、仲間と協力しながら責任を持って仕事に取り組む姿勢の重要性を学びました」。



講義後、汐留本社入り口で（了承をいただいたうえで掲載しています）

水 ing グループは、今後も次世代の企業訪問対応を通じ、日本の水インフラの魅力を発信しつつ、地域の水インフラ持続のために貢献してまいります。

◇水 ing（すいんぐ）グループについて◇

水 ing(読み：すいんぐ)は、「生命の源である『水』を通じていつまでも社会に貢献し続ける『ing』」を経営理念に掲げ、水処理施設（浄水場、下水処理場、汚泥再生処理センター、し尿処理場、民間施設等）の設計・建設から運営、維持管理までをトータルに手掛けている水処理事業会社です（運転・維持管理の拠点は、国内約300か所）。

“水の先をつくれ。”というブランドメッセージのもと、地域の暮らしの課題に目を向け、安全安心な水環境を提供し続けるとともに、水を通じて、暮らしと街の未来を支えています。

（公式 WEB サイト <https://www.swing-w.com>）

問合せ先：広報部

Tel:03-4346-0612（代）

E-mail：pr.news@swing-w.com